

Swift 5.6で使えるようになった swift-docc-pluginを試してみる

宇佐見公輔 / 株式会社ゆめみ

自己紹介

- 宇佐見 公輔（うさみこうすけ） / @usamik26
- 株式会社ゆめみ / iOSテックリード
- 最近、本を書いたりiOSの記事を寄稿したりしています。

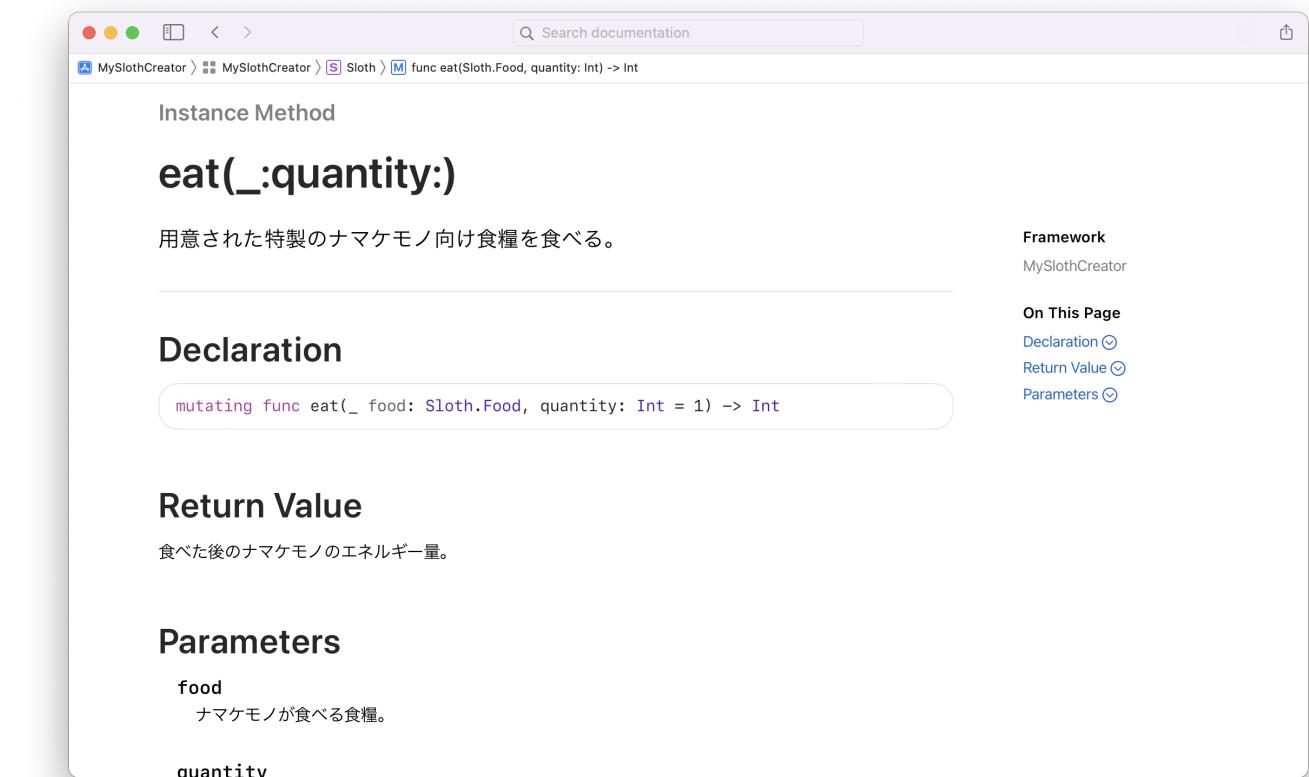


Swift-DocC

Swift-DocC

- Swift-DocC : Swiftのドキュメント生成ツール、オープンソースで公開されている
- CLIの `docc` コマンドで利用できる、またXcodeに標準で組み込まれている
- ドキュメントコメントの例：

```
/// 用意された特製のナマケモノ向け食糧を食べる。
///
/// - Parameters:
///   - food: ナマケモノが食べる食糧。
///   - quantity: ナマケモノが食べる食糧の数。
/// - Returns: 食べた後のナマケモノのエネルギー量。
mutating public func eat(_ food: Food, quantity: Int = 1) -> Int {
    energyLevel += food.energy * quantity
    return energyLevel
}
```



Swift 5.6

Swift 5.6

- 2022-03-15 (日本時間) リリース
- 同じ日にリリースされたXcode 13.3に付属
- 言語としてのアップデートもあるが、個人的には Swift Package Manager の機能が気になる

Swift Package Manager

- [SwiftPM 5.6 Release Notes](#)
- SwiftPMにプラグイン機能が新しく追加された
- SE-0303 ビルドツールプラグイン：`swift build` のとき外部ツールを実行できる
- SE-0332 コマンドプラグイン：`swift package` コマンドを拡張して外部ツールを実行できる

ビルドツールプラグイン

- `swift build` のとき外部ツールを実行できる
- `Package.swift` で使いたいプラグインを指定すると自動的に実行される

Examples

- SE-0303では、以下の例が挙げられている
- SwiftGenでソースコードを生成する
- SwiftProtobufでソースコードを生成する

コマンドプラグイン

- `swift package` コマンドを拡張して外部ツールを実行できる
- `Package.swift` で使いたいプラグインを指定するとコマンドが拡張される
- コマンドは `swift package do-something` という形式になる

Examples

- SE-0332では、以下の例が挙げられている
- ドキュメント生成：`swift package generate-documentation`
- ソースコード整形：`swift package format-source-code`
- Zipアーカイブ作成：`swift package create-distribution-archive`

注意点

- ビルドツールプラグインもコマンドプラグインも、プラグインの準備が必要
- 既に用意されていれば、それを使うだけでいいので簡単
- 用意されていなければ、自分でプラグインを記述する必要がある（ちょっと面倒）

swift-docc-plugin

swift-docc-plugin

- SwiftPMからSwift-DocCを実行できるコマンドプラグイン
- Swift 5.6と同じ日にバージョン1.0.0がリリース
- [apple/swift-docc-plugin](#)
- [SwiftDocCPlugin | Documentation](#)

コマンドプラグインで追加されるコマンド

- `'swift package generate-documentation'`
- `'swift package preview-documentation'`

プラグインの追加

- `Package.swift` に以下を記述

```
let package = Package(  
    dependencies: [  
        .package(url: "https://github.com/apple/swift-docc-plugin", from: "1.0.0"),  
    ],  
    targets: [  
        // targets  
    ]  
)
```

- これで拡張されたコマンドが使えるようになる

swift package generate-documentation

- ` `.doccarchive` を生成する
- Xcodeでドキュメントを見ることができる

--transform-for-static-hosting オプション

- `'swift package generate-documentation --transform-for-static-hosting'`
- Web公開用のドキュメントを生成する
- GitHub Pagesでホスティングできる

swift package preview-documentation

- ローカルでプレビュー用のサーバが起動する
- ブラウザでドキュメントを見ることができる

まとめ

- SwiftPM形式のライブラリやツールでもSwift-DocCが使いやすくなった
- ドキュメントをWeb公開する方法もサポートされた